

平成6年度園芸相談集計記録

富澤 まり

平成6年度の受付件数は、2,197件で、その集計結果を表1、2と図1～5に示した。月別の相談件数は、例年どおり、春と秋に集中している。受付方法は、80%以上が電話である。「その他」は、関係機関のイベントでの出張園芸相談及び「洋ランクリニック」での園芸相談の件数を記した。植物別にみると、花木・果樹や草花の相談が40%以上を占めている。作業別割合では、植物の管理に関する問い合わせが最も多かった。「その他」で多かったヘチマのたわしの作り方は、平成7年度に園芸入門講座として開講された。

平成6年度の園芸相談の特徴をいくつか述べる。まず、この年の夏は市内の一般家庭の水道が断水になるような、例年にない高温少雨の天候続きであった。そのため、庭の植物に与える

水について（具体的には、風呂や洗濯の残り水が灌水に使えるか）や水不足が植物に与える影響についての質問が多かった。真夏は園芸作業が少ないので、例年、8月は7月より相談件数が減少するが、本年は8月の件数が7月を上回った。

また、アサガオの花が咲かない、咲いても種子ができないといった相談が目立った。その多くが小学生やその父母からの相談であった。

さらに、本年度は広島への皇族の来訪が続き、宮様の紋（植物）を尋ねられることが多かった。

この他、平成7年3月18日（土）～4月2日（日）まで'95春のラン展を開催し、期間中、会場内で「洋ランクリニック」を開いた。その集計結果を図5に示した。シンビジウムやデンドロビウム、ファレノプシスが一般に広く普及していることがよみとれる。質問内容は初歩的なものが多く、バックバルブの取り扱い方などといったランの栽培知識に関しては普及がまだ遅れている。

表1. 月別・方法別受付件数

(単位：件)

項目 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
電 話	207	256	248	162	152	146	165	154	51	76	113	103	1,833
来 園	3	15	5	3	19	3	4	11	1	2	4	—	70
手 紙	3	3	2	3	2	—	3	1	1	—	1	2	21
そ の 他	111	—	—	—	—	—	41	37	—	—	—	84	273
計	324	274	255	168	173	149	213	203	53	78	118	189	2,197

表2. 月別・植物別受付件数

(単位：件)

項目 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
庭 木	58	35	27	18	44	15	36	37	8	10	15	12	315
花木・果樹	75	74	80	43	14	25	60	59	17	19	30	22	518
草 花	65	78	40	47	31	24	51	48	10	13	18	21	446
山草・野草	5	18	16	6	8	4	2	5	3	5	7	4	83
観葉植物	20	27	37	28	21	21	31	14	5	11	17	20	252
洋 ラ ン	52	17	18	13	20	9	21	21	6	11	10	82	280
そ の 他	49	25	37	13	35	51	12	19	4	9	21	28	303
計	324	274	255	168	173	149	213	203	53	78	118	189	2,197

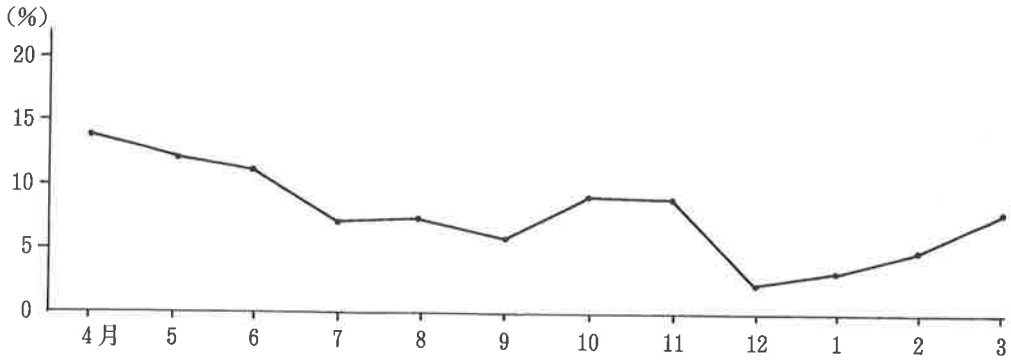


図1. 月別割合

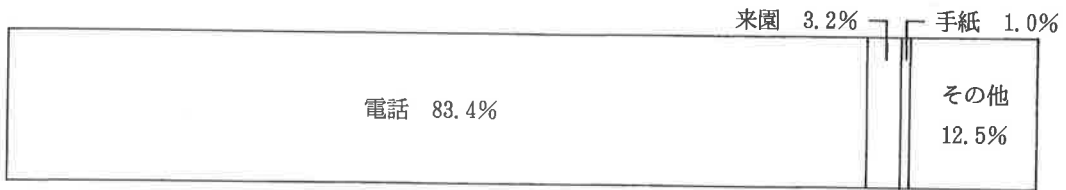


図2. 受付方法別割合

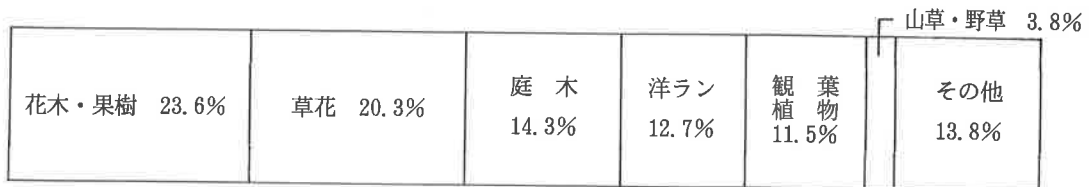


図3. 植物別割合

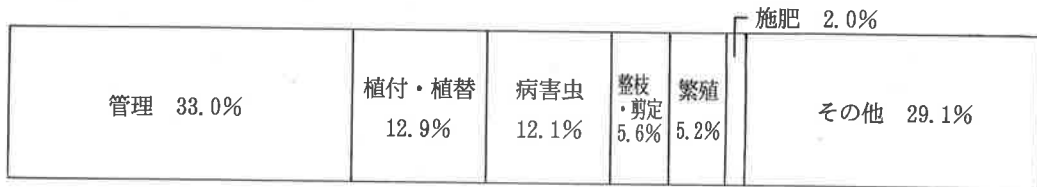


図4. 作業別割合

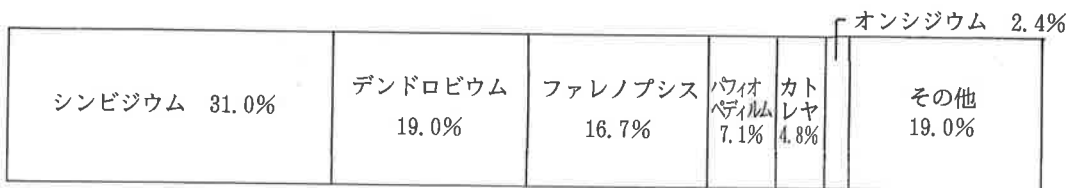


図5. 洋ランクリニック植物別割合 (総受付件数 84 件)